



人生100年時代のライフプラン ～今から考える老後資金～

老後がいつを指すかは人によって様々ですが、経済的に公的年金や預貯金などを生活資金として使い始める時期を指すことが多いようです。子育てや、定年を迎え多くの仕事を終えた後の人生のことを、セカンドライフ（第2の人生）といわれています。今回は、セカンドライフを60歳・定年で迎えることを前提に考えていきたいと思います。



「セカンドライフの備え」

定年後の生活って、どうなっているか想像が付きませんか？

ちょっと、わからないですね？

夫婦二人になった時の生活費は、子どもと同居時の7割くらいで計算されるといいようです。更に、どちらかが亡くなり、一人暮らしになった場合は、2人暮らしの時の7割が目安となります。この計算で準備をされているはいかがでしょう？

それでは、以下の項目をチェックしながら必要な老後資金を試算してみましょう。

〈現在の総資産をチェックしてみましょう。〉

- ① 年金受給見込み額を計算してみましょう⇔ねんきん定期便をチェック
- ② 現在の貯蓄や住宅ローンなどの総資産や総負債をチェック
- ③ 家計の収支⇔現在の家計の収支をチェック



〈年金受給年齢時の総資産の見込み額〉

- ① 年金以外の収入可能性のある収入源を考える
- ② 現在の家計の収支から老後生活の家計を予想する。

〈希望する老後生活は？〉

$$\begin{array}{r} \text{年金受給見込み額} + \text{用意可能な貯蓄} \cdot \text{退職金} \cdot \text{個人年金などの見込み額} \\ - \text{生活費} + \text{イベント費} \\ \hline \text{私の必要な老後資金} \end{array}$$

必要な老後資金額が確認出来たら、次は資金作りです。

- ① できるだけ長く働いて収入を得る
- ② 現在の生活の見直しを行い、支出の見直しをする。
- ③ セカンドライフの資金を見積るにあたっては、医療と介護の知識が欠かせません。医療保険や介護保険の基本的な内容を理解し、必要な準備や手続きをしましょう。



LPAは組合員の「暮らしの安心・安全を守るお手伝いをしています。」

【お問い合わせ】 エフコープ 組合員活動部 LPA活動事務局

TEL: 092-947-9003 FAX: 092-947-9192